

## その後の噂

5月25日 土曜 この日も晴れ。さすがに30度越えにはならず。

土曜ということもあって、授業はなく、午前中は宿舎で掃除・洗濯に励む。PCに打ち込んだこの日記などにも目を通す。5月15日の項にさりげなく、噂が京都経由で伝わったと書いたことを思い出した。どういうことか？

「大連日記から」その9で書いたが、私には芳しくない噂が広まり、これまで何かと嫌な思いをして来た。そして、その噂はこの大連の地にも伝わるだろうと予想していた。留学開始直後に、早くも金珉珠の口を通して同学の仲間に広まるかと思いきや、直ぐに「それは本当ではない」と否定される情報が伝わり、事なきを得た。しかし、噂と言うのは国境をまたぐインフルエンザと同じで、どこからでも伝わるものだ。今度は京都からやって来た女子大生の口から広まることになった。

クラスメートの中には広がらず、寧ろ他のクラスの日本人学生の中に広がった。次には大学の教育学院の教師やスタッフの中にも広まることになった。誰かに疑惑の目が向けられる時、まずはその人間の正体を知りたいとなるものだ。

「一体、三浦はどういう奴なんだ？」と知っていそうな人に聞くことになる。他のクラスの日本人学生は、まずは私がキャンパスでよくご一緒した松岡さんに聞いたようだ。しかし、松岡さんも初耳の話で、三浦がどういう人間か？と答える時に「あの人の書いたホームページ(HP)があるから見て見たら」と、これを紹介するくらいしかできなかった。言うまでもなく、このHPで私の人格までわかるかは疑問だが、結果的にこの噂もそれほど広がることもなく、下火になった。

考えて見ると、数年前、このHPを立ち上げた時、自分がどういう人間か分かってもらいたいという思いもあった。その意味で、このHPも誤解を解くのに少なからず役にたったようだ。ご覧の通り内容は「旅行記」中心だが、私が高校教師だったこともあり、学求肌の人間の書いたものとする人もいた。宿舎の私の部屋は学生達の通学路に面しており、否が応でも私が机に向かう姿は彼らに見られていた。こうして、悪い噂を本気にする人は殆どいなかった。一度は私を疑った一部の教師も、安心して微笑を湛えるようになった。私は金珉珠たちに聞きはしなかったが、やはり彼女たちが噂は真実でない、と答えてくれたからではと思っている。

しかし、京都の女子大生の疑いは晴れていなかった。校舎の廊下ですれ違っても、何か人を訝しがる視線を投げていた。それから暫くして、松岡さんが私を見て「ぎょっとする」態度をとったことがある。学期末を前に早めに大阪に

戻られて、最後まで簡単な挨拶でお別れしたので、何があったのですか？と聞きそびれてしまった。結局、事柄の真偽はわからないが、さも恐ろしい悪者だと私を責める人物が、この女子大生の口を通して松岡さんに、極端な話を吹き込もうとしたのだろう。

私に接点をもった人が、その噂に接してこちらに「ぎょっとする」。こういう経験は、これまでも、たまにだが出会っている。しかし、この手の話は「何があったんですか」とは聞きづらい。いっそのこと、「こういうことだったの？」とでも聞いてくれる人がいたなら、話は面倒にならないだろう。しかし、そうした人は皆無だった。そして訴えている内容は、多分こちらの想像を絶する内容なのだろう。最初は取り合わなかったが、どう考えても恐ろしい話を焚きつけているのだと今は想像している。

私は噂が誰の言葉から発しているかをよく承知している。この人の言葉を聞いて本気にする人たちは、なぜ噂を語る主がそうするのか、その伏せている動機を、隠している理由を知らない。しかし、私はそれを知っている。だからこそ、悪者にする十分な動機が相手にはある。今に至っては、自分が偽りを広げていることを責められたくないので、益々非難めいた態度をとっているようだ。

見方を変えれば、人が自分にとり不都合な誰かを責めようと思ったら(そんな振る舞いはそもそもするべきではないが)、なるべくその動機と事情を知らない人に、また自分の本性を見抜くことのない日頃接していないたまに会う人を狙って、噂を吹き込むものだ。SNSの発達した現代では、こうした噂を信じる人は一気に数が増える。そうすれば、あの人も言っているからと、こうした噂に根拠はなくとも信ぴょう性を加えることができる。要は、真相とは異なっても、多くの人がある主張を信じてくれれば、相手を圧倒できる。そう考えているのだろう。その偽りを信じてくれる人が多数なら、当面自分の保身を図れると思っているのだろう。ここには良心が不在している。

ところで、私はそれほどの悪者なのだろうか？ そうだとしたら、警察がやって来て私の犯罪でも暴くとも言うのだろうか。そこまで行かなくとも、マスコミが私をやり玉に挙げるのではないか。そうした真似をマスコミ関係者にされたことは一度もない。理由は至ってシンプルだ。多くの人がある噂に騙されるが、裏付けをとるのが当然必要なマスコミは、その真相を知っているのだ。だから、私を責める人はマスコミ関係者にはいない。

この噂による迫害とも言うべき日常は、帰国した今も続いている。そして今年も10月に向けて、相手の攻撃はエスカレートして行くだろう。なぜそう思うか？ 繰り返しますが私は相手が隠しているその意図を、十分に承知していません。なぜ10月かは、その頃になればわかるかもしれません。どうぞ期待！